

学内グラント 報告書

平成20-21年度 学内グラント終了後報告書

ペプチド結合リポソームを用いた、エボラウイルスに対する CTL誘導型ワクチンの開発

研究代表者 松井 政則(医学部 微生物学)

研究分担者 禾 泰壽¹⁾, 山岸 敏之²⁾, 赤塚 俊隆³⁾, 内田 哲也⁴⁾

研究成果リスト

論文

- 1) Nakano T, Matsui M, Inoue I, Awata T, Katayama S, Murakoshi T. Free immunoglobulin light chain: its biology and implications in diseases. Clinica Chimica Acta 2011;412:843-9.
- 2) Pickens SR, Chamberlain ND, Volin MV, Mandelin II AM, Agrawal H, Matsui M, Yoshimoto T, Shahrara S. Local expression of IL-27 ameliorates collagen induced arthritis. Arthritis Rheum 2011 (in press)

学会発表

- 1) Takagi A, Moriya O, Kobayashi N, Matsui M, Akatsuka T, Taneichi M, Uchida T. A non-immunogenic hepatitis C virus peptide coupled to the surface of liposomes induces an efficient anti-viral CD8 T cell response. The 17th International Symposium on Hepatitis C virus and Related viruses, 2010年9月, Yokohama, Japan.
- 2) 高木徹, 守屋修, 小林信春, 松井政則, 赤塚俊隆, 種市麻衣子, 内田哲也. 非免疫原性HCV由来ペプチドによる抗ウイルスCD8⁺T細胞反応の誘導, 第58回日本ウイルス学会, 2010年11月, 徳島

- 3) 須田達也, 川野雅章, 禾泰壽, 大野尚仁, 赤塚俊隆, 松井政則. CTL誘導型アデノウイルスワクチンの免疫ルートがインフルエンザウイルスに対する感染防御に与える影響, 第84回東京医科大学・東京薬科大学・免疫アレルギー研究会, 2010年11月, 東京
- 4) 松井政則, 須田達也, 高山俊輔, 種市麻衣子, 赤塚俊隆, 内田哲也. 細胞傷害性T細胞誘導型ペプチド結合リポソームワクチンによるインフルエンザウイルス感染防御効果の解析, 第14回日本ワクチン学会, 2010年12月, 東京
- 5) 須田達也, 高山俊輔, 種市麻衣子, 大野尚仁, 赤塚俊隆, 内田哲也, 松井政則. エボラウイルス由来HLA-A*0201拘束性CTLエピトープの同定と, そのペプチドを結合したリポソームによる細胞傷害性T細胞の誘導, 第14回日本ワクチン学会, 2010年12月, 東京
- 6) 高木徹, 守屋修, 小林信春, 松井政則, 赤塚俊隆, 種市麻衣子, 内田哲也. 非免疫原性HCV由来ペプチドによる抗ウイルスCD8⁺T細胞反応の誘導, 第14回日本ワクチン学会, 2010年12月, 東京

特許出願

発明の名称: エボラウイルスリポソームワクチン
出願番号 : 特願2010-231918
出願日 : 2010年10月14日
発明者 : 松井政則, 内田哲也, 種市麻衣子, 横山晶一, 桑原愛

1) 医学部 分子生物学
2) 医学部 解剖学
3) 医学部 微生物学
4) 国立感染症研究所